

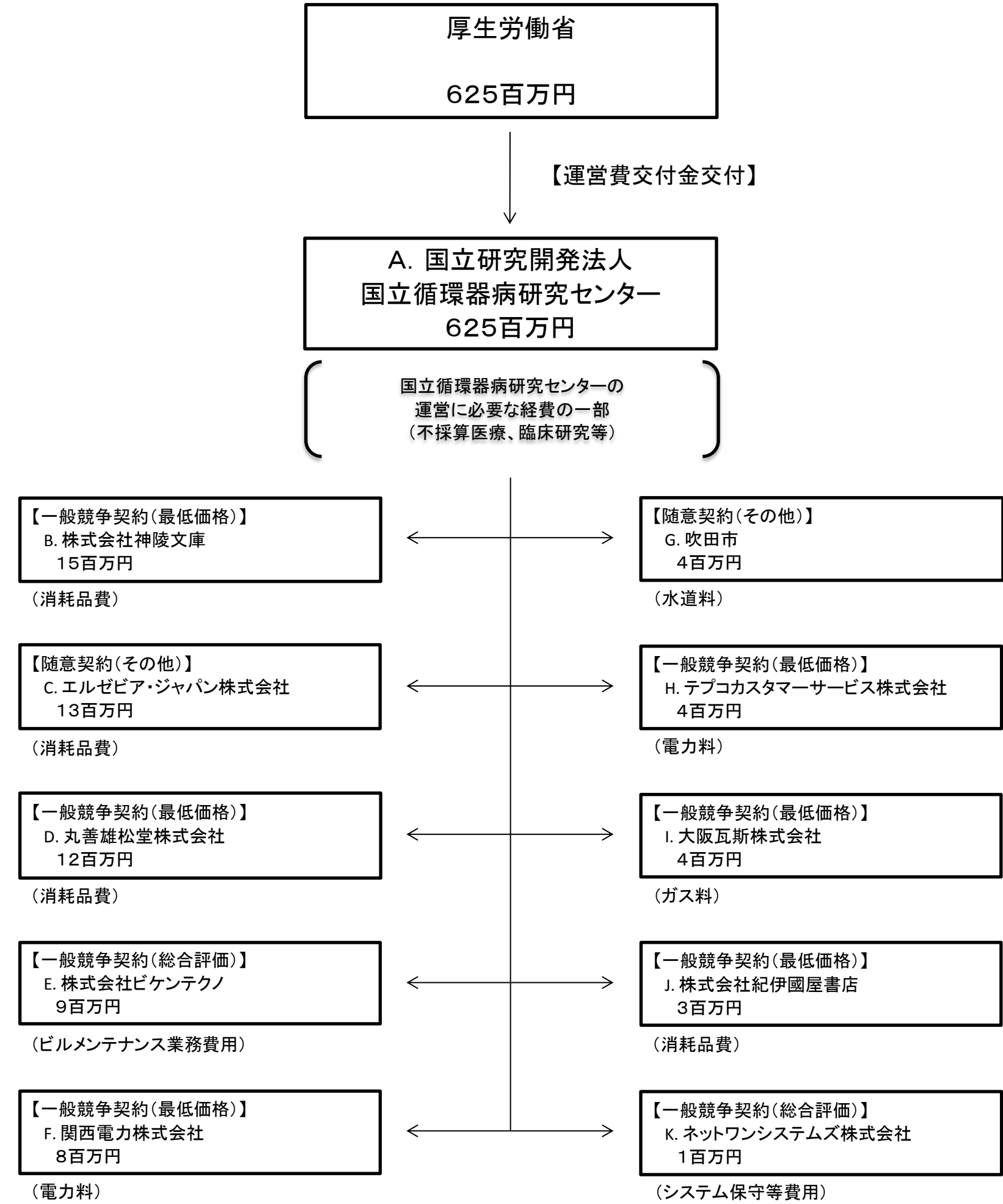
事業番号											0091 - 03				
平成29年度セグメントシート (国立研究開発法人国立循環器病研究センター)															
セグメント名		教育研修事業				担当部局庁		医政局			作成責任者				
事業開始年度		平成22年度		事業終了 (予定) 年度	終了予定なし		担当課室		医療経営支援課			課長：佐藤 美幸			
会計区分		一般会計													
セグメント単位の考え方		高度専門医療に関する研究等を行う独立行政法人に関する法律に定められている業務内容に基づき、区分。													
根拠法令 (具体的な条項も記載)		独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第46条第1項				関係する計画、通知等		-							
主要政策・施策		-				主要経費		社会保障							
事業目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		国立研究開発法人国立循環器病研究センターが行う業務(循環器病に係る医療に関し、調査、研究及び技術の開発並びにこれらの業務に密接に関連する医療の提供、技術者の研修等)にかかる経費の一部に充てることにより、同センターの業務の円滑な実施及び同業務の推進に資すること。													
事業概要 (5行程度以内。別添可)		循環器に対する研究・医療の専門家(看護師、薬剤師等のコメディカル部門も含む。)の育成を積極的に行う事業。													
実施方法		交付													
予算額・執行額 (単位:百万円)				26年度		27年度		28年度		29年度		30年度要求			
		経常収益		予算額：運営費交付金		4,316		3,892		4,486		4,251			
				執行額		運営費交付金		1,832		1,082		625			
						補助金等		0		0		0			
						その他		20		18		23			
						計		1,852		1,100		648			
				運営費交付金収益の割合		98.9%		98.4%		96.5%					
				運営費交付金収益化基準		業務達成基準		業務達成基準		業務達成基準		業務達成基準			
		経常費用		予算額		1,789		1,119		1,017		1,099			
				執行額		1,789		1,119		1,067					
執行率				100%		100%		105%							
(単位:百万円)	平成29・30年度予算内訳	歳出予算目		29年度当初予算		30年度要求		主な増減理由							
		国立研究開発法人国立循環器病研究センター運営費交付金の内数		4,251											
		計		4,251		0									
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		定量的な成果目標		成果指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
		-		-		成果実績	-	-	-	-					
						目標値	-	-	-	-	-				
						達成度	%	-	-	-					
根拠として用いた統計・データ名 (出典)		-													

定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と26～28年度の達成状況・実績							
		国立循環器病研究センターは、循環器病に係る医療に関し、調査、研究及び技術の開発並びにこれらの業務に密接に関連する医療の提供、技術者の研修等を行うことにより、国の医療政策として、循環器病に関する高度かつ専門的な医療の向上を図り、もって公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的としており、これに対する定量的な目標を設定することは困難である。			国立循環器病研究センターは、循環器病に係る医療に関し、調査、研究及び技術の開発並びにこれらの業務に密接に関連する医療の提供、技術者の研修等を行うことにより、国の医療政策として、循環器病に関する高度かつ専門的な医療の向上を図り、もって公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目標とし、26～28年度において適切に実施されている。							
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標		目標最終年度	
									-	年度	32	年度
		国立循環器病研究センター（以下「国立循環器病研究センター」という。）は、循環器病に係る医療に関し、調査、研究及び技術の開発並びにこれらの業務に密接に関連する医療の提供、技術者の研修等の適正な実施	国立循環器病研究センターが行う業務に関する独立行政法人通則法に基づく業務実績の評価	実績	-	A	B	-	-	-		
				目標値	-	B以上	B以上	B以上	-	総合評定B以上		
	達成度		%	S: 全体として中(長)期計画における所期の目標を量的及び質的に上回る顕著な成果が得られていると認められる。 A: 全体として中(長)期計画における所期の目標を上回る成果が得られていると認められる。 B: 全体としておおむね中(長)期計画における所期の目標を達成していると認められる。 C: 全体として中(長)期計画における所期の目標を下回っており、改善を要する。 D: 全体として中(長)期計画における所期の目標を下回っており、業務の廃止を含めた抜本的な改善を求める ※個別項目の評定等を総合的に勘案した総合評定による評価					-	-		
	活動指標及び活動実績（アウトプット）	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		30年度活動見込	
		治験受入件数(製造販売後臨床試験を含む)		活動実績	件	39	43	集計中	-		-	
				当初見込み	件	69	39	43	前年度以上		前年度以上	
	活動指標及び活動実績（アウトプット）	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		30年度活動見込	
		発表論文数(掲載に専門家の審査が必要となる国際的に評価される専門的科学雑誌に掲載された科学論文)		活動実績	件	329	335	集計中	-		-	
				当初見込み	件	391	329	335	前年度以上		前年度以上	
	活動指標及び活動実績（アウトプット）	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		30年度活動見込	
		研修会受入人数		活動実績	人	1,339	1,014	集計中	-		-	
当初見込み				人	776	1,339	1,014	前年度以上		前年度以上		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込				
	単位当たりコスト=X/Y X: 当該年度執行額 Y: 当該施設数		単位当たりコスト	百万円	4,316	3,892	4,486	4,251				
			計算式	X/Y	4,316/1	3,892/1	4,486/1	4,251/1				

独法等所管部局による点検・改善				
	項 目		評 価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	国立循環器病研究センターが実施する研究は、他の研究者が実施しない又はできない研究(①国民の健康に重大な影響のある疾患のうち、国として早急又は積極的に対応する必要があるという判断した研究②難治性・希少性の疾患に関する研究③中長期に渡って継続的に実施する必要のある疫学的なコホート研究や、専門領域における相当数の症例の積み重ねにより明らかとなった新たな科学的知見を踏まえ、治療指針(ガイドライン等)を作成・改訂するための研究等、その成果の普及及び政策の提言につながる研究)を通じ、国との密接な連携の下、我が国の政策課題となっている脳卒中、心臓病等の循環器病に対する高度専門的な医療の開発及び確立、人材育成等を行っていることから、国が実施すべき事業であり、事業の優先度も高く、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	同上
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	同上
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	毎年、「独立行政法人の契約状況の点検・見直し」のフォローアップを行い、契約方法の検証をしていることが確認できているため、妥当と考える。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。		有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	予算が減少している中、一定の成果・実績を上げているため、妥当と考える。 独立行政法人評価委員会(高度専門医療研究部会)の評価を行っており、適正であると考ええる。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	医薬品の共同入札の実施などコスト削減に取り組んでいる。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	成果実績は成果目標に見合ったものとなっている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は見込みに見合ったものになっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	主に研究・開発等に活用しているが、その結果、英文論文を発表するなど、十分、活用されている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	「事業番号116:国立研究開発法人国立循環器病研究センター設備整備費補助金」・・・設備整備費は医療機器等の整備を行うための費用であり、研究・臨床基盤経費等の費用である運営費交付金とは重複しない。 「事業番号122:国立研究開発法人国立循環器病研究センター施設整備費」・・・施設整備費は建物等の整備を行うための費用であり、研究・臨床基盤経費等の費用である運営費交付金とは重複しない。
	所管府省名	事業番号	事業名	
	厚生労働省	0116	国立研究開発法人国立循環器病研究センター設備整備費補助金	
	厚生労働省	0122	国立研究開発法人国立循環器病研究センター施設整備費	
点検・改善結果	点検結果	成果実績や活動実績で一定の成果を上げており、また、上記のとおり、点検したところ、現段階では特段問題はないものとする。		
	改善の方向性	現段階では特段問題がないため、今後も成果実績や活動実績も踏まえながら、適切な運営に努めていく。		
備考				

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)



※上記の他に、主たる用途である費用項目は以下のとおりである。(暫定)
・人件費等 ……552百万円

費目・使途 （「資金の流れ」に おいてブロックごと に最大の金額が支 出されている者につ いて記載する。 費目と使途の双方 で実情が分かるよ うに記載）	A.国立研究開発法人国立循環器病研究センター			B.株式会社神陵文庫		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	交付金	運営費	625	消耗品費	医業外消耗品	15
	計		625	計		15
	C.エルゼビア・ジャパン株式会社			D.丸善雄松堂株式会社		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	消耗品費	医業外消耗品	13	消耗品費	医業外消耗品	12
	計		13	計		12
	E.株式会社ビケンテクノ			F.関西電力株式会社		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	委託費	ビルメンテナンス業務	9	電力料	電力供給	8
	計		9	計		8
	G.吹田市			H.テプコカスタマーサービス株式会社		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	水道料	水道利用	4	電力料	電力供給	4
	計		4	計		4
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック ☒

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となっ た理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人国立循環器病研究センター	3120905003033	教育研修事業	625	運営費交付金交付	-	-	-

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となっ た理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社神陵文庫	1140001013317	外国雑誌年間購読	15	一般競争契約 (最低価格)	4	-	

C

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となっ た理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	エルゼビア・ジャパン株式会社	3010401004372	外国雑誌年間購読	13	随意契約 (その他)	-	-	

D

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となっ た理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	丸善雄松堂株式会社	2010001034952	外国雑誌年間購読	12	一般競争契約 (最低価格)	4	-	

E

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となっ た理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社ビケンテクノ	5120901008067	ビルメンテナンス業務	9	一般競争契約 (総合評価)	1	-	

F

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となつた理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	関西電力株式会社	3120001059632	電力供給	8	一般競争契約 (最低価格)	3	-	

G

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となつた理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	吹田市	6000020272051	水道利用	4	随意契約 (その他)	-	-	

H

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)	
1	テプコカスタマーサービス株式会社	1010001086672	電力供給	4	一般競争契約 (最低価格)	6	-		
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	☒	

注) 落札率については、他の契約の予定価格を類推されるおそれがあり、また、センターの事務若しくは事業に支障が生じるおそれがあるため、国立研究開発法人国立循環器病研究センター契約事務取扱細則第42条に基づいて公表しない。

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契 約 先	法 人 番 号	業 務 概 要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となつた理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	-	-

費目・使途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載）	I.大阪瓦斯株式会社			J.株式会社紀伊國屋書店		
	費 目	使 途	金 額 （百万円）	費 目	使 途	金 額 （百万円）
	ガス料	ガス供給	4	消耗品費	医業外消耗品	3
	計		4	計		3
	K.ネットワンシステムズ株式会社			L.		
	費 目	使 途	金 額 （百万円）	費 目	使 途	金 額 （百万円）
	委託費	情報システムネットワーク運用保守業務	1			
	計		1	計		0

I

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となっ た理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	大阪瓦斯株式会社	3120001077601	ガス供給	4	一般競争契約 (最低価格)	1	-	

J

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となっ た理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社紀伊國屋書店	4011101005131	外国雑誌年間購読	3	一般競争契約 (最低価格)	3	-	

K

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となっ た理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	ネットワンシステムズ株式会社	7010701007922	情報システムネットワーク 運用保守業務	1	一般競争契約 (総合評価)	1	-	